



あけましておめでとうございます。みんなの人気者ワンワンの年です。かえで保育園のお庭に住んでいるワンワン（置物の2体）は、実家の植木の中でさみしそうにしていた犬の置物をもってき、園庭の花壇にそっと置いていました。最初は眺めるだけでしたが、そのうち遊びの仲間に入れてもらうようになり、今では人気者に！みんなに抱っこされたり、ごはんやおやつも毎日たくさん用意されています。時には旅行に連れて行ってもらったり、病気になった時は点滴や注射・お薬まで・・・
お子様が自分で体験している様子をお庭の犬で模倣遊びをし、自分の気持ちを言葉にしたり友達との会話を深めています。そんなちょっとした子どもたちのやり取りにほっこりさせてもらっています。
かえで保育園のワンワンのようにみんなの見守りの中で、大切にされながら元気に走りまわったり、抱きしめられたり、みんなと一緒に楽しく過ごせる一年になりますよう保育を進めていきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



さて、12月の「楽しいかえでの日」以来、子どもたちの何かを作り上げたり、想像したりする力がどんどん湧き出ています。かえで保育園では、「この材料でこれを作りましょう」といった先生の指導型ではなく、今子どもが何に関心を持ち、どのようにしていきたいかを考えながら保育を進めています。どんな時に子どもにスイッチが入るか・・・そのタイミングを見計らったり、思いを感じたりしているかなどの『読み取り』は難しく、いつもアンテナを張って子どもたちの様子を見守ることができる「保育者の目」を育みながら進めています。

「かえでの楽しい日」を見に来てくださった絵画の太田先生から『素晴らしい！子どもの心がわかるからこそ一人一人に関り、その子らしい表現を見守った結果が今日だね。また、どの部屋も子どもの可能性を引出し、作品が活きるようなレイアウトをしてくれた先生に思いっきり労を労って！』と熱いメッセージをいただきました。開園2年目から太田先生のお声掛けから子どもが育ち、その子どもを見守る先生も育ち、今があります。12月16日は胸が熱くなるうれしい一日でした。

この育ちを継続しながら2月の「成長発表会」にそれぞれのお子様の成長した姿をご披露したいと思ひます。

大人はよくできる・できない・上手・下手で評価します。その評価はその人の主観で決まります。

こんな声掛けをしていませんか？

「もっと、こうしたら上手にできたのに・・・」

「こうしないからできなかった・・・」

「いつも〇〇は最後までがんばれない」

「お母さんやお父さんがせっかく～してあげたのに・・・」

とこどもの気持ちではなく自分の気持ちでお子様を決めてしまう言動がありがちです。その大人の評価がその子のやる気・考える力・頑張る力などこれから生きていくための大切な「こころ」や「力」の芽を摘んでしまうことが多いのが悲しい現実です。大人の何気ない言葉が子供の将来を左右してしまうことを思いながら『認める』『だきしめる』の子育てをしてほしいと思ひます。

1月のかえでカフェ

1月11日（木） 10：00～11：30

16：30～17：50

作業・・・かえでのマークの看板作り

歌の練習・・・『故郷』の合奏と歌

詳しくはPOPでお知らせします。

にこにこメッセージ♪

2018年、新たな年を迎えました。12月中旬頃、「なんだかあっという間に時間が過ぎ、もうこんな日に・・・びっくりするぐらい早かった」と先生たちと今年一年を振り返りました。子どもたちと季節を巡り、時間を共に過ごしている私たちは、時の流れるのが早いような気がします。「もっと時間がほしい」「もっとゆっくりと関わってきたい」という思いや願いを話す先生たち。その時の表情には、楽しさや充実している気持ちを感じ、同じ時を過ごしている先輩保育者として、先生の思いや子供の思いを大切に今年も先生方と共に歩んでいきたいと思えます。

12月、河本先生とクラシックコンサートに行く機会がありました。1曲目はチャイコフスキーの“ピアノ協奏曲第一番”曲が終わり、河本先生は「曲の間何考えていました？」と聞かれ私は“??”大好きな曲だったため無心で聴いていた私は「何も考えてなかったよ」と返答、「先生は？」と逆に聞いてみると、様々な場面で子どもたちが登場してきたそうです。そこから会話が弾み、同じ曲を子どもたちにも聴かせてあげたいねとの話になり、次の日からランチルームでの食事の時間に音楽を流して見ることになりました。音楽を流し始めた初日「なんかレストランみたい」と言ってくれる子どもの声が聞こえてきました。ちょっとした工夫ですが、お食事の時間も楽しんでほしいと思えます。子どもたちと聴くおすすめ曲がありましたら教えてくださいね。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

主任保育士 藤森寿美

せんせいからのおはなしコーナー

あっという間に年が明けました。今年も丁寧に保育を進めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、我が家の6歳になる娘が25日が来るまでプレゼントを楽しみにサンタさんをお願いしてワクワクドキドキしながらその日を迎えていたエピソードを紹介します。

「お家に煙突ないのにサンタさんどこから入ってくるのかな？」という娘に「本当だね。どこからくるのかな？」と答えると「窓からしかないよね」と現実的に言う娘でした。意外とあっさりしていて私の方がびっくりしました。本を見ながら欲しいプレゼントを決め、手紙にお願いするプレゼントを書いてその日から「今日は〇〇日」と毎日カレンダーを見て確認していました。その日が近づき、「今日は22日だね。もうすぐサンタさん来る！」と嬉しそうに言いながら又手紙を書き始めていました。今度はお礼の手紙でした。「サンタさん。来てくれてありがとう。折り紙のうさぎと、ビーズの花束作ったから持って帰ってね」とお礼のプレゼントが入った箱の絵も書いて、どこに入っているか知らせていました。その時に「サンタさんってみんなのプレゼント用意しないといけないから、お金もちなんだね！」と言い出し、私も笑いながら「本当だね」と答えました。一昨年はサンタさんからのプレゼントが届く事で嬉しかっただけでしたが、1年たってサンタさんの気持ちを考えたりお礼をしたり、感謝の気持ちが出来るようになったことに嬉しく感じました。これから年々楽しくなってくる子どもの発想を共感しながら毎日過ごしていこうと思えます。

西口 智子

～ めばえ・ふたばからのお知らせ・お願い ～

- ・靴や、靴下の記名がないことが多いです。忘れず、記名をお願い致します。
- ・床暖房が入ります。必要以上の厚着はしないでください。
- ・健康調査票は必ず記入してください。
- ・肌が乾燥します。肌着は綿を使用ください。

～ つぼみ・幼児からのお知らせ・お願い ～

- ・幼児は、ロッカーの使用が変わりました。点検、整理をお願いします。
- ・歯磨きの記名が消えてしまうことが多いので、上からテープを貼るなど、消えないよう工夫をお願い致します。
- ・子どもたちが自分で掛けられるよう、上着にからける紐をつけて下さい。

ねらい：「からだをたくさんうごかしてあそぼう」「おともだちと一緒に嬉しいね」

う た：「まめまき・むすんでひらいて」 わらべうた：「おてぶし」

寒くなってきましたが日差しがある時はあたたかくも感じ、少しお外にもでてあそんでいます。怖さと葛藤しながらもある日滑り台が一人で滑れるようになったり、スコップで上手に砂をバケツに入れられるようになったりと日々過ごす中で様々な成長が見られます。最近ではお友だちやお友だちがしていることにも興味をもち、同じ空間で一緒に過ごすことを楽しんでいる姿も見られるようになってきました。目を合わせたり、表情が変わったりとまだまだ言葉にはならないこともお互いにお話ししているように感じられます。

“これはなにかな？”

12月のお餅つき、めばえ組のお友達はまだ食べることはできませんがつきたてのおもちを触らせてもらいました。“食べ物”という感覚はまだないのか食べようとするお友達は一人もおらず、恐る恐る手を伸ばし触っていました。引っ張るとびよーんと伸びるお餅の感触を楽しみお友達に「はい」と渡す姿も見られました。力を加えてみたり、ちぎってみたり…何とも言えない感触を楽しんでいました。



“こうやってするんでしょ”

お外に行くときには帽子を被ること、お部屋に入る時には手や足をタオルで拭くこと、食事の時にはエプロンをつけることなど毎日の習慣の中で繰り返していることを自らしてくるようになってきました。「毎日の繰り返しってすごいな」と保育者も関心するほどです。子どもたちが自分でやってみようと思うことは口出しせずに見守り意欲を大切にしていきたいなと思います。



“みんなでよいしょ”

最近では2階テラスに上がったり、すべり台をする楽しさを知りよく階段を上る姿が見られます。最初はよろけてしまいそうでドキドキしながら見守っていましたが、階段を上る時には必ず手すりを持ち一段ずつ足に力をいれて上っていて、今では少し安心できるほどしっかりとした足取りになってきました。前のお友だちを抜くことなく順番に一列になってのぼる姿が見て可愛らしいです。



“担任の思い”

体を動かすことが楽しいと感じているめばえ組です。寒い日が続きますが室内でもランチルームに出かけ、トンネルをしたりボールで遊んだりたくさん体を動かしながら遊びたいと思います。また一人でじっくりと遊ぶ時間も、その時同じ空間にいたお友だちと一緒に遊ぶ時間もどちらも楽しんでいます。お友達に関心をもち自ら関わる姿に成長も感じます。まだまだ言葉にならず態度で自分の思いを伝えたり、“大好き”の思いを伝えたくてぎゅーっと抱きしめにいってもお友達はそんな気分ではなかったり…と色々ありますが、お友達との関わりの1歩を大切にしながら保育者も一緒に加わりお友達と一緒にいる楽しさや嬉しさなどを感じてほしいなと思います。

～ふたばぐみ～

ねらい：「冬を感じながら身体を動かすことを楽しもう」

う た：「おもちゃのチャチャチャ」「おにのパンツ」「トントントントンひげじいさん」

わらべうた：「かんできわって」「オヤユビネムシ」「せんべ・せんべ」

寒さが増し、冬がやってきたなと感じるようになってきました。しかし、「子どもは風の子」と言うようにふたば組の子どもたちは、少しも寒さなど感じさせない程ほど毎日元気いっぱい園庭をかけまわっています。寒いときには靴や靴下を履いて園庭に出ているのですが、毎日の繰り返しの中で自分で着脱出来ることも増えてきました。

～どうぶつだいすき！～

毎日子どもたちの会話の中のものよく出てくる動物たち。絵本も、ネコやクマなど動物が出てくるものが大人気です。以前、上のクラスの子も達が動物園に出かけ、ふたば組の子ども達に動物園



での出来事を話してくれたことも、子どもたちの興味に繋がたのではないかと感じています。また、12月には、「移動動物園」があり、目の前で大きなヤギやポニー・小さなうさぎやカメに触れることができ、少しドキドキしながらも間近で見たり、えさやりができたたりして嬉しいといった思いが伝わってきました。今後も興味を大切に、保育の中に取り入れていきたいと思います。

～クリスマス飾り作り～



登園時や園庭に出る際には、いつも大きなクリスマスツリーが気になる様子の子もたち。そんな子どもたちは、大好きなまつぼっくりに毛糸を巻いたクリスマス飾りを作りました。まつぼっくりに毛糸を巻くのは少し難しいところもありましたが、自分たちの顔写真がついた飾りが完成するととても嬉しそうな表情をしていました。出来上がった飾りをツリーに飾りに行くことが何よりも楽しかったようで、何度も何度も飾りなおしたり、前を通るたびに自分の飾りを探したりする姿がよくみられました。

“担任の思い”

4月から新ふたば組になり、あっという間に新年を迎えました。今は、少しずつ来年度の事も考えながら生活面や遊びを見守っています。室内の玩具が少しずつ複雑で細かい物になったり、頭を使って遊ぶパズルなども出したりするようになりました。赤ちゃんのお人形のお世話もお手物もので、今では抱っこしてお散歩するだけでなく、ご飯を作ってスプーンで食べさせてあげたり、子守唄を歌ってあげたりしながらお昼寝させてくれるようにもなりました。遊び方一つひとつに子どもの自由な発想や優しさ、思いが詰まっていて、これからの子どもたちの成長がとても楽しみです。

西口 智子・木下 明友美・星加 由美子

ねらい：「自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを知る」

う た：「たこ」「おしょうがつ」

最近ではより一層、お友達との関わりが深くなってきていて、自分の体験したことを話したり、相手の話を聞く姿が見られるようになりました。先日もケンカしているお友達の間に入って「そっかー、ふたりとも悲しかったんだね、ふたりの気持ち、よく分かるよ。」とまるで小さな先生のように話しかけてくれていたりなど、そっと会話に耳を傾けていると、面白い話が聴こえてくることがあります。

自分の気持ちが相手に伝わる嬉しさや、相手の気持ちを初めて知って感じることを1月はたくさん体験してほしいです。



“つぼみ組のクリスマスツリー”

積み木で作った大きなツリーが幼児保育室にあるのを見て、興味津々だったつぼみ組。最初に一度だけ積み方を伝えると、もうそこからは保育者が入らず、子ども達だけのツリー作りが始まりました。「お父さんくらい、大きいの作ろうね。」「そーっと置こうね。」など、最初から遊んでいた子も、途中から興味をもって遊びに入ってきた子も、自然と気持ちがひとつになって一つひとつ丁寧に積み上げていました。椅子の上にも立っても届かないくらいになったとき、「ツリーの星がないやん。」「どうする？」と子どもたちの作戦会議が始まりました。どうするかな？とそばで話を聞いていると、「よし、幼児さんのお部屋にないか探しに行ってみよう！」という話になり、幼児保育室に探しに行きました

たが、どこにも星は見当たらず…。しかし、透明の赤や青の積み木を見つけ、星に見立てて一番上に飾りました。そこからも勢いは止まらず、いくつもツリーを作ったり、崩さないようにそーっと通ったり、いまもみんなで協力しながら遊んでいます。



“おおきな かぶ”

12月に入り、おおきな かぶの絵本を読むと、とっても楽しそうにお話を聞いていました。

ある日、昼食にかぶのサラダが出たことをきっかけに、つぼみ組の「おおきなかぶ」ごっこが始まりました。

実習生のお姉さんにかぶ役になってもらったり、それぞれの役決めから始まりました。

一人、また一人と友達が増えていき、「おじいさんの次はおばあさんでしょ？」など、お互いに絵本のシーンを思い出しながら話していました。「うんとこしょ、どっこいしょ」「まだまだ抜けないね～」と役になりきって楽しそうに遊んでいました。

“担任の思い”

普段の生活や遊びを見ていて「お友達と一緒に」の気持ちが強くなってきていることを感じるが増えてきました。今回の積み木のツリーやおおきなかぶごっこでも、自分のイメージを相手に伝えながら、同じ方向性に向かって遊ぶ姿がよく見られます。担任として、子どもたちが力を合わせて遊ぶことを嬉しく思いますし、今後どのような関わりがみられるのか楽しみに思います。子どもたちが今したいことを見つめ、どのように関わり遊んでいくのかそばで見守っていきたいです。

ねらい：「お友達と一緒に楽しむ・やりたいことを見つけて自分でやる」

う た：「コンコンクシャンのうた」

お友達と過ごしていく中で、一緒に遊びをしたい、お友達の遊びの中に入りたいという気持ちがより強くなってきました。以前から体操を含めてやってきた鬼ごっこを楽しんだり、カードゲームや家族ごっこをしたりなどみんなで一緒にいる時間が主になってきたように感じます。また、たのしいかえでの日を通じて、自分のやりたい、こうしたいという気持ちを表現することが多くなってきました。この気持ちはこの日が終わってからも、どんどんと大きくなってきています。



“かっぱの世界”

以前から盛り上がっていた「おっきょちゃんとカッパ」の絵本を見ていると、物語の中におっきょちゃんがスイカの中に入ってカッパの世界から戻ってくることに気付いたいぶきさん。「なんでスイカのなかにはいったら、にんげんのせいかいにかえってきたのかな?」「なんでおっきょちゃんのかえりたいとおもったのかな?」とみんなの中で“なんで?”がたくさん出てきました。一人がスイカに入りたいと呟くと周りのお友達も入りたい!と盛り上がり、自分たちでスイカを作ってみることにしました。アートコーナーに行って大きな丸いものが無いか探してみましたが見当たらず…。赤い布があったのでそれを丸くしてスイカに見立てることにしました。スイカが完成するとその中に入って呪文を唱えます。「だからを…なんやっけ?」と悩みながらスイカの中では「かっぱの世界に行けますように」とカッパさんに願いを届けているようです。ままごとのスイカを持ってきて、「スイカのなかやから、スイカたべてんねん」とスイカにしゃぶりつく食いしん坊のカッパさんでした。また、スイカの隣には川も完成し、川の中で泳ぐカッパさんもいます。いぶきカッパさんは本物のカッパに会えるのでしょうか…。



“このゆびとーまれ!”

お友達と一緒に鬼ごっこをすることも増え、最近では先生ではなくお友達同士で鬼ごっこをすすめるようになってきました。「おにごっこしようよ!」「うん!おにごっこするひと、このゆびとーまれ!」「やるやる～」とみんなを集めます。また、鬼を決めるときには「どのこがよいこ、このこがよいこ」というわらべうたを使って鬼決めをしています。自分たちで決める、力を合わせるが増えてきたいぶきさんです。



“担任の思い”

カッパの話は、以前よりも盛り上がりは小さくなっていますが、みんなの心の中には残っているようで、突然思い出したようにお皿を付けてカッパになり、おままごとをしていることもあります。カッパの思いは薄れてきてはいますが、みんなの中にカッパがいる間は私も一緒にカッパに会える日を楽しみに過ごしていきたいと思っています。今いぶきさんはお友達と楽しさを共感してきたことで、自然と鬼ごっこなどのみんなでする遊びに入ったり行けたり誘えたりしています。この楽しさをみんなで共感、共有することを積み重ね、お友達との楽しい時間をたくさん過ごしていけるようにお手伝いしていきたいと思っています。

谷角早紀

ねらい：「遊びの中でお互いに思いを伝えあうことを楽しむ」

うた：「ゆき」「きたかせこそうのかんたろう」

新しい年になり、ひかり組として過ごすのも残り3ヶ月になりました。水遊びで身体中泥だらけになったこと、いぶきさんとしたパラバルーン、だいちさんとの大縄やりレーとまだまだ楽しかった思い出がどんどん浮かんでいきます。ひかりさん、楽しかったなと1年を振り返りながら、だいちさんへの憧れや期待を持ちつつ過ごしていきたいです。そして、こんなことやってみたい、今しかできないこと、ひかり組で過ごす1日1日を大切に思いっきり楽しんでいきたいです。

“作ってみたい、見てほしい、できた！”

幼児部屋の環境が変わってからままごと遊びやかるた遊び、焼き芋ごっこと各コーナーでお友達と遊ぶ姿が増えてきました。アートコーナーも子ども達が自分を表現するコーナーの1つです。すぐアートコーナーで素材探しを始めてわくわくしながら作り始める子もいれば、図鑑や絵本を見ながら「大きい紙に動物描きたい！」とダイナミックに描く子もいました。ままごと遊びをしながら「お母さんどんなエプロンつけてる？」「同じの作ってみたいね！」とお友達と一緒に作り始めたりと遊びの中からやってみたいことを見つける子もいました。「〇〇ちゃん、こんなことできるの？」とお友達が作品をつくる姿をしばらく見つめて「すごいね！どうやってするのか？」と作り方を教えながら一緒に遊び始める姿も見られるようになってきました。1人1人が表現したいものが形にできたことの達成感やお互いの“いいところ”を知る機会にもなったように感じます。たのしいかえでの日、アートコーナーでの作品作りからそれぞれの個性がまたいろんな方向に進み始めているようです。



“担任の思い”

作品を作るうちに、子ども達のやってみたい！先生みてね！の気持ちがどんどん溢れてきて、様々な方法で表現する姿を作品で見ていただけたように感じます。1人1人が作品に取り組む様子を見て、こんなことが好きだったんだ…もっと好きなことたくさん楽しんでほしいな…と私自身がその子の発見を知る機会になったり、子どもと一緒に考え向き合えるとても大切な時間になりました。子どもたちの興味、関心のあることは何だろうとに寄り添いながら遊びを展開してきました。体験したことからの発見があったり、失敗したことからのまた挑戦しようとしたりと何度も経験する中で友達と楽しむ機会も増えたように感じます。ひかり組としての残り3か月は、その中で相手がどう感じているか、自分だったらどうするかを1人1人、お互いに納得がいくまで話すことで友達同士の関係性も深めていくことができるようすごしていきたいと思います。

日笠 加菜

ねらい：「心地よく過ごせる方法を見つけ、生活の中に取り入れる」「あそびを自分たちで広げていく」

う た：「ゆき」「もちつき」

寒さが増してきましたが、園庭では鍵鬼ごっこをひかりさんと一緒に楽しんだり、ドッジボールを経験し友だちとキャッチボールをしたりと寒さに負けず活発にあそぶ姿が見られました。その反面、ポケットに手を入れながら歩いたり寒くなってくると手を洗うことさえ億劫になってしまう子どもも多くいます。外から帰ってきた子どもたちの頬や手に触れると「あったか～い」と笑顔になったり、反対に手を優しく握り温めてくれることもありました。健康に過ごすために自分たちで出来ることを、繰り返し経験しながら生活の中に取り入れていければと思います。

“ツリーの次は…?”

12月を楽しみに11月から作り始めたクリスマスツリーは、みんなで完成させた初めての大作でした。徐々に大きくなっていくツリーに自信を持ったり、朝やお迎えの時間におうちの方々に「すごいね」「高いところまで登れるんだね」と声を掛けていただいたことで嬉しそうな表情を浮かべていました。地域の交流でも他園や小学校の先生と触れ合う機会がありますが、特定の大人以外の人との関わりも持っていきたいと考えています。

以前より手紙に興味を持っていただいちさん、「ツリーの後には郵便局をつくらう」と話し合い決めていました。

ツリーを崩す頃にはみんなもすっかり忘れていたのですが、一人の子が覚えていたようで「確か誰かが、ツリーの次は郵便局を作りたいって言ってたような…」と教えてくれました。友だちとアイデアを出し合いながら、次はどのような作品が出来上がるのか、楽しみです。



“ぼく、わたしの役割”

アートコーナーで思い思いの作品を作る中、友だち同士で「〇〇ちゃんと言えば富士山」「〇〇くんといえば夕日」とそれぞれの印象があるようで、どんなものを表現しようかと悩んでいる友だちに教えてあげる姿もありました。

クラスで育て始めた大根の間引きをする時になり、みんなが「やりたい！」と手を挙げたのですが、大根の芽は16本もありません…どうするのかと見守っていると、「じゃあBくんがやればいいよ」

「そうだね」とだいちさんの中で自然と声が上がりました。「どうしてBくんに譲ってあげようと思ったの？」と尋ねると、「だってBくん大根のこと好きだから」「お世話毎日がんばってるから」と応えが返ってきました。



何か特別なことをすると、以前は自分の“やってみたい！”の気持ちが強く、友だちとぶつかることもしばしばでしたが、友だちの興味のあることに気づき、その思いを尊重しようとする姿に成長を感じました。

Bくんが間引きをする間も、プランターの周りに集まり、「こっちも4本だから間引きしないと！」「これは3本だからなくていいよ」と声を掛け合ったり、自分に出来る他の役割を見つけて取り組む姿もありました。

間引いた大根は園庭でした飯盒ごはんのおかゆに入れて食べました。

“担任の思い”

毎日一緒に過ごしている友だちのことを、一番近くで見ているだいち組の仲間。嬉しいことも悲しいことも一緒に感じている仲間だからこそ、お互いのことをよく分かっているのだと思います。そして互いに安心出来る存在だからこそ、自分の欲求よりも相手の気持ちを優先させて任せることが出来たんだと感じました。4月当初は散歩に出かけるのにも友だち同士で注意し合いけんかになっていたことを思い出すと、子どもたちの心の成長と時の流れの早さを感じます。保育園で過ごすのも残り3か月となりました。今まで経験してきたことに自信を持ち、就学に向けて楽しみながら気持ちが膨らんでいこう過ごしていきたいと思っています。

河本 彩奈

保護者の方からのおはなしコーナー

「〇〇ちゃんとおーおててつないでえーおそとで〇〇したー！！」と毎日満面の笑みでたくさんお話をしてくれる娘。日々言葉を覚え、家族にHAPPYをくれる彼女と、お友達、先生方に感謝です♡

ふたば組 ゆきさん

保育園で何をして遊んだとか誰と遊んだとかを聴くのが日課になっています。家でもカップを作ったり鬼ごっこをやってみたりととても嬉しそうにやってみせてくれます。たまには「〇〇ちゃんと喧嘩した」と言いますが、それも成長だと思っています。先生方、毎日の保育ありがとうございます。

いぶき組 あやねさん

「たのしいかえでの日」では、乳児さんの笑顔の絵を描いていたことが印象的で、お兄ちゃんとのやり取りを思い出させてくれる、めばえのころからお世話になっている先生のコメントにジーンとききました。家では、「小学校に行く準備」が始まりました。お兄ちゃんたちと同じ時間に起きて登園準備を自分ですること。正しいしいひらがなの練習はお姉ちゃんが家庭教師です。入園した6年前は年の近い子沢山で大変でしたが、強気な娘が素直に教えてもらう姿がとても微笑ましく、兄弟姉妹の素晴らしさを実感しています。

だいち組 えみかさん

つぼみさんになってから、めきめきと言葉を覚え、歌も上手になりました。少し悪い言葉も遊びも覚え成長したなど実感しています。大好きなお友達とのお話を毎日楽しそうに話してくれるのがとても嬉しいです。

つぼみ組 あきこさん

小学二年生の長男がこの夏九九を覚えることになり、トイレに九九表を貼りました。しばらくして「ママー 2×1は2やで！」と覚えた次男。今では2×1から2×7まで覚えたようです。ひらがなもカタカナも教えたことはないのに知らない間に覚えている…。さすが次男！下の子はほっといても成長するんですねー！

ひかり組 さとみさん

歌うことが大好きな娘。保育園でも習った歌をお家で披露したり、自分で作詞作曲をした歌をアイドル風のダンスに合わせて歌ってくれたりします。ただ、まだ言い間違いもあり、クスッと笑える時も多く。

♪ピーヒャラピーヒャラ…おなかポンポコリン
♪どうしておなかがへるのかな…おかあさんおかあさん、おなかとせなかが、、ちゅっくつぞ！！
かわいくて、間違いのところを何度も何度もリクエストしてしまいます。

いぶき組 のぞみさん

クリスマスの夜、長男が「サンタさんがプレゼントの自転車に乗ってきて、玄関前に待たせてたトナカイに乗って帰った」と教えてくれました。クリスマス前におじいちゃんに「もう長男はわかってる！パパとママが買ってる事ぐらい！」と孫の前で言われたので、ばれたかと思っていましたが、まだ大丈夫なのかな？と少し安心しました。

だいち組 まりこさん

～お台所から～

新年明けましておめでとうございます。まだまだ寒い日が続きますが、1月も旬の食材を多く取り入れた、体も心もぽかぽかになる美味しいご飯をたくさん提供していきます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

<12月の食育の様子>

- おもちつきではきな粉、あんこ、砂糖醤油、味噌、大根おろしを用意し、子どもたちが好きな物を選んで食べました。どれが好きだったか聞いてみると一番人気があったのはきなこでした。その他にも「全部の味食べてみたよ」と話してくれる子もいました。残りのお餅は後日おやつにあべかわもちとぜんざいにして食べました。
「あんこは苦手だけどあったかくて美味しい」といってぜんざいを食べていた子もいました。
- 12月22日が冬至でした。前日にかぼちゃとゆずをいれた「かぼちゃのいとこ煮」と「さわらの幽庵焼き」を献立を取り入れてみました。子どもたちもお昼ご飯を食べていると「めっちゃいいにおいする」と旬の香りを感じていました。また冬至のことを知ってもらうために、お昼ご飯の前にクイズをしました。冬至は一年の中で一番お昼が短いから暗い時間が長いことや、昔の人は病院に行ってお薬をもらうことができなかったから、かぼちゃを食べて柚子湯に入って病気になるようにしてたことなど理由をお話すると、「へ～そうなんや」「冬ってすぐ暗くなるもんね」「お薬なかったからいっぱいかぼちゃ食べたんかな」など、いろいろなことを感じてくれていました。次の日、「昨日お風呂に柚子入れて入ったよ」と話してくれる子もいました。
- お正月の前ということもあり、おやつの前に「おせち一家のお正月」という絵本を子どもたちの前で読みました。えびばあちゃん、たたきごぼうじいちゃん、くわいパパ、伊達巻ママ、紅白かまぼこのはくちゃん、こうちゃんが大晦日に年越しそばを食べたり、お椀のお船に乗って初詣に行ったりするお話なのですが、子どもたちからも「初詣行ったことある」「夜におそば食べるんでしょ」など知っていることをたくさん話してくれました。

<1月旬の食材>

だいこん・かぶ・はくさい・こまつな・ほうれんそう・ブロッコリー・みかん・いよかん・ゆずなどを予定しています。

<1月に予定してる食育>

- うどん作り・・・だいち組が生地を作り、うどんだしも作ります。子どもたちが作ったうどんと市販のうどんの食べ比べも予定しています、どちらが本場を感じられるかな・・・
- 七草粥・・・おやつに七草粥を出し、子どもたちに春の七草を伝えたいと思います。
- カッターチーズ作り・・・ひかり組が牛乳とレモン汁を使ってチーズ作りをします。
- その他にもみそ汁のはくさいをつぼみ組がちぎったり、いぶき組がすり鉢とすりこぎでごまをする体験や、旬の食材が登場する絵本を読むなどを予定しています。

おもちを丸める



小豆が入ったかぼちゃのいとこ煮



りんごといちごのケーキ





★お願い★

- 新年の保育は1月4日(木)からです。
お弁当日となりますのでご用意ください。
- 2月14日にはだいち・ひかりで六甲山に
雪遊びに行きます。詳しくはお便りを出し
ますので必ずよく読んでご準備下さい

こんなことしたよ♪

1日はお餅つき大会がありました。子どもたちも数日前から楽しみにしており、当日の朝は園庭から聞こえてくる「ぺったんぺったん」という音に「早く食べたい!」と待ちきれない様子でした。かえでカフェやダンディタイムの保護者の方にもお手伝いいただき、自分で丸めてみたり、実際にもちをついてみたり、おもちつきを存分に楽しむことが出来ました。そしてつきたてのおもちに美味しい!と満足そうな子どもたちでした。お忙しい中のお手伝いありがとうございました。



20日には移動動物園がありました。ウサギやヤギ、ヒツジなどたくさんの動物が来てくれ、子どもたちは少し怖がりながらも餌をあげたり、抱っこしたりと楽しんでいました。またポニーにも乗せてもらおうと「たかい! たかい!」ととても嬉しそうな表情でした。お野菜のご協力ありがとうございました。



- 幼児の個人ロッカーの使用方法を変更しました。自分のものの管理をしお子様が遊びが中断してしまわないよう環境を整えました。朝の保護者の方々の入室は幼児の入り口までとなります。降園時には、室内に入っただけですのでご協力ください。
- 1月20日(土) 西宮市保育協議会主催の職員新年の集いのためご協力をお願いしています。保育は13時までとなりますのでご了承ください。
 - 1月は、成長発表会に向けて話をしたり、子どもたちでストーリーを進めていきます。9時30分までの登園をしてください。



《1月の予定》

- 4日(木) 保育開始・お弁当日
※お弁当のご準備をお願いします。
- 11日(木) かえでカフェ
- 17日(水) 誕生会
浜脇小学校震災訓練
(だいち)
- 20日(土) 西宮民間保育園新年の集い
保育は13時までとなります。
ご協力をお願いします。
- 24日(水) 月例健診
体操
- 9日(だいちのみ)
- 11日
- 18日
- 25日
- 絵画
- 10日
- 19日

《2月の予定》

- 3日(土) せいちょう発表会
- 6日(火) 節分・豆まきの集い
- 14日(火) 雪あそび (ひかり・だいち)
- 15日(木) 支援事業
健康チェック・育児相談
- 24日(土) 新入園児説明会